



同窓会報



令和6年10月26日(土) 学生就職支援交流会兼名刺交換会

目次:

令和6年度事業報告	2-3
令和7年度事業予定	3
同窓生の活躍	4
新任教員紹介	5
写真で見る体育学科の今	5
体育学科の社会貢献活動	6-7
インフォメーション	8

文理学部体育学科同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから、本会の活動に、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

昨年度の諸活動は、会員の皆様をはじめ、文理学部及び文理学部校友会、更には文理学部体育学科教職員の皆様など、多くの方々からご支援を賜りまして、滞りなく実施することが出来ました。改めて関係の皆様にお礼申し上げます。

さて、本同窓会は、体育学科で学んだ仲間同士のつながりを保ち、世代を越えて親睦を深めるとともに、母校の発展にも寄与することを目的に活動を続けております。これまで、卒業生同士のネットワークづくりや、在学生への支援活動、記念式典・講演会の開催など、幅広い取り組みを行ってまいりました。

そこで、こうした活動を継続・発展させていくためには、皆様からの会費のご協力が不可欠です。会費は主に、広報活動費、在学生支援費

用などに活用させていただいております。何卒ご理解いただき、未納の方におかれましては、年会費の納入にご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

同窓会活動のさらなる活性化のために、皆様のご意見・ご提案も随時お待ちしております。世代を越えて交流できる場所づくりに努め、共に学び、励まし合った絆を今後も大切に育んでいきたいと考えております。

今後とも、同窓会活動へのご支援とご参加を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、母校の益々の発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、挨拶いたします。

同窓会長
第17期 小野 力



令和6年度 事業報告

令和6年度代議員会

令和6年10月26日、日本大学文理学部3号館にて、「令和6年度日本大学文理学部体育学科同窓会代議員会」を開催いたしました。開会にあたり、第20期 武田副会長より挨拶を賜り、伊佐野幹事長代理の進行で、当日の出席者の中から議長2名が選任されました。

事業報告では、毎年、東京都保健体育教師会(同窓会下部組織)が、

「東京都教員採用試験二次試験対策講座」を実施し、教員を目指す学生や卒業生に対して面接練習等の支援をしていることが、報告されました。

同窓会運営の1つの問題点であった、同窓会活動の認知度について、様々な同窓会事業を通して、同窓生だけでなく学生とも繋がる機会を増やしていくことが同窓会事業の活性化につながると感じました。

同窓会事業の他、決算報告および予算案の審議・承認が行われ、代議員会は滞りなく終了いたしました。

【議事】

1. 令和5年度事業報告
2. 令和5年度決算報告
3. 令和6年度事業計画
4. 令和6年度予算案

体育学科学生就職支援交流会兼名刺交換会

コロナ禍により開催を見合わせておりましたが、2019年度以来3回目となる「体育学科学生就職支援交流会兼名刺交換会」を令和6年10月26日、日本大学文理学部にて開催いたしました。

本会は、学生に対する就職支援と同窓会員相互の親睦を深めることを目的としているため、開会前の時間を利用し、参加学生向けに事前講習会を実施いたしました。講師として、第53期岩崎東子氏をお招きし、ビジネスマナー講座を実施していただきました。

前半では就職活動の考え方・マインドセットから、マナーについてお話しいただきました。お話の中では「第一印象」の大切さにも触れており、就職活動だけでなく普段の生活にも通じる内容が盛り込まれており、学生たちは興味深く聞き入っている様子でした。

後半には、事前に準備された学生それぞれの名刺を使用し、実践形式での名刺交換練習が行われました。交

換の際に注意すべき点や、いただいた名刺の扱い方を順を追ってご説明いただきながら、学生たちも楽しそうに一生懸命取り組んでいました。そのあとは、ビジネスマナーについてもご教授いただき、「本日のゴール(まとめ)」を以て、事前講習会は終了いたしました。

16時から3号館1階カフェテリア秋桜にて、名刺交換会が開会いたしました。開会に先立ち、小野同窓会長、岡文理学部長からご挨拶を頂戴いたしました。それから、小山学科主任の乾杯の挨拶で、グループ交流会が開始いたしました。

グループ交流会は、企業、教員、公務員それぞれのブースに分かれていただいたところに、決められた順番に学生が回り、名刺交換やお話を伺う時間といたしました。それぞれの仕事の話や会社の説明がされているのはもちろん、今回ご参加いただいているほとんどの方が同窓生ということもあり、大学時代のお話などが聞かえてくるところもありました。グループ交流の移動の間には、第57期畑駿祐氏、第58期落合美穂氏にもご挨拶を頂戴いたしました。

グループ交流のあと、2024パリオリンピック・パラリンピックに日本代表と

して出場した第54期泉健也氏(ブラインドサッカー)、第56期山田優氏(フェンシング)、3年生園部優月氏(ブラインドサッカー)の3名からお言葉をいただき、体育学科同窓会より花束を贈呈させていただきました。

後半は、自由懇談の時間といたしました。数年ぶりの再会を喜ぶ同窓生の姿や、企業様同士、またグループ交流会から引き続き学生と同窓生など、卒業期や職種・業種に関係なく交流する姿が見られました。

会の最後に、学生を代表して3年生佐々木瞳氏からご出席いただいた方への感謝とともにご挨拶いただきました。また、同窓生からは第28期野口智博氏に閉会のご挨拶をいただき、令和6年度学生就職支援交流会兼名刺交換会は盛会のうちに終えることができました。

ご多用にも関わらず、ご参加いただきました皆様におかれましては、心より感謝申し上げます。



冬季スキー指導者研修会

今回は日程を3泊4日から2泊3日に変更して開催いたしました。初日は午前から講習を開始し、最終日は午後まで講習を実施する工程に変更したため、以前と同じ時間数を確保して実施することができました。

参加者の総数は、講師を含めて21名とここ数年ではあまり変わらない人数でしたが、1泊減らしたことで全日程に参加する方が増えたようです。

気温の上昇や雨天で、ゲレンデコンディションの悪い日もありましたが、降雪や急な冷え込みもあり、全日程では満足できるコンディションで滑走、講

習ができたのではないのでしょうか。

例年通り、バッジテストも実施し、同窓生から小学生まで、1級から3級の4名が受検し、全員が合格しました。2級、3級に認定された方は、ぜひ次回のこの会で次の級へ挑戦してください。お待ちしております。

参加者の平均年齢は相変わらず高めですが、ご友人とご家族と参加なさる方、若い参加者もおります。今後も年齢問わず、多くの方々にご参加いただけることを願っております。

(第35期 重城哲)



令和7年度 事業予定

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 7月19日(土) | 代議員会兼懇親会 |
| 8月中旬 | 東京都教員採用試験二次試験対策講座(東京都保健体育教師会主催) |
| 11月2日(日) | ホームカミングデー |
| 3月下旬 | 冬季スキー指導者研修会 |

令和7年度代議員会兼懇親会

令和7年度体育学科同窓会代議員会兼懇親会を、下記の日程で開催いたします。懇親会には、是非とも周りの同窓生にもお声がけいただき、多くの方にご参加いただけることをお待ちしております。詳細は下記をご確認ください。

記

日程 **令和7年7月19日(土)** ※お申込みは7月9日(水)までをお願いいたします。

【代議員会】

時 間 13:30～14:00 (受付 13:00～)
会 場 日本大学文理学部3号館2階 3203教室
〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40

【懇親会】

時 間 14:00～15:30 (受付 13:30～)
会 場 日本大学文理学部3号館1階 カフェテリア「秋桜」
会 費 調整中(6月中旬頃にHP等でお知らせいたします)

令和5年度の開催の様子(於 桜門会館)



専用フォームからの申込み

下記QRコードまたはURLよりお申込みください。



<https://forms.gle/63hdf5e71P8v5Bs6>

メール・電話・FAXでの申込み

【メール】

taiiku.doso@gmail.comに下記を記載の上、お送りください。

【記載事項】

- ・ご氏名(ふりがな)
- ・卒業年度(期)
- ・ご連絡先(携帯電話番号)

【電話】

事務局(増田) 03-5317-9717

【FAX】

同封の「FAX送信状」をご利用ください。

同窓生の活躍

第27期 佐藤元昭 熱海温泉ホテル貫一 代表取締役



学生時代、私は野球部に所属し、厳しい練習を重ねながら過ごしていました。寮生活と厳しくも温かい先輩との交流が今でも続いています。プロ

野球選手となった先輩をはじめ、さまざまな仲間と触れ合う機会もあり、大変貴重な経験となりました。

また授業では「フジヤマのトビウオ」の異名を持たれた水泳の古橋先生や、1964年の東京オリンピック金メダリスト体操の早田先生の講義を受け、貴重な経験談を聞くことが出来ました。

卒業後、大手飲料メーカーに就職し経験したことはその後家業であるホテルのリニューアルを手掛けた際に役立ちました。

家業の創業者である祖父母はアイデアマンだったようで、昭和30年初

旬、熱海に来られるお客様に「海」と「山」を楽しんでいただこうと、1時間で360度回転する「回るお座敷」と「外が見えるエレベーター」を発売し作りました。共に世界初であった為に、当時アメリカから「LIFE誌」が取材に来て、全米に向けて報じられた事は今でも誇りに思っております。

この商売をしている中で、お客様が日本大学の卒業生だという事が分かると距離がグッと近づく事を感じる嬉しい瞬間があります。

体育学科で学んだ物事に真摯に向き合う事、特に「チームワークを重んじる」ことは、今日までの仕事や人間関係に活かされています。

この秋創業75周年を迎えることになりましたが、同じく日本大学を卒業した息子達と共に家



業を盛り立てようと、同じ方向を向いて頑張っております。

多くの先輩方が築かれた輝かしい歴史に感謝をしながら、後輩たちにも持っている力を全力で発揮してもらえ、心から応援しています。



静岡県熱海市東海岸町1-2
<https://atamikanichi.com/>



第45期 高村悠吾 落語家 立川志の彦(一般社団法人落語立川流 立川志の輔一門)



みなさまこんにちは、卒業生の高村悠吾です。2007年より、落語家立川志の彦として活動しています。

落語家になってから、17年以上の月日が経ちま

すが、いままで出会ってきたたくさんの方に支えられて今日まで活動することができました。いまでのご縁で仕事をいただくことがたくさんあり、特に日大関係のみなさまからいただいた多大なご縁に感謝しております。

小さい頃から人を笑わすことに興味があり、人に笑ってもらってご飯が食べられたらこんなに幸せなことはい

と、将来の道を模索しているなかで、落語と出会いました。

落語家立川志の輔の落語を見て衝撃を受け、この人の弟子になりたいと思い、当時練馬区に住んでいた私は、公演先の名古屋までヒッチハイクで向かい、志の輔に弟子入り志願をしました。

そしてこの度、2025年9月1日に真打に昇進することが決まっております。楽しいことも辛いこともたくさんありましたが、大学時代に培ったフィジカルと諦めない気持ちとコミュニケーション能力のおかげで今日まで生きてくることができたと思っています。

これからも落語の魅力、日本文化と伝統、そしてなにより笑うことの素晴らしさをたくさんの人に伝えられるように活動していきたいと思っています。

立川志の彦の名前をどこかで見かけたらぜひともお声がけいただけましたら嬉しいです！

みなさまにお会いできますことを楽しみに、今日も笑顔で頑張ります！



立川志の彦.com
<http://shinohiko.com/>



【訃報】

第1期 川井昂殿（日本大学名誉教授、体育学科元教授、同窓会前会長）
令和6年8月14日にご逝去されました。享年86歳。
ご生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

新任教員紹介

橋口 泰一 第41期卒

日本大学文理学部 教授

【主担当科目：アダプテッドスポーツ論、オリンピック・パラリンピック論】

令和7年4月1日付で日本大学文理学部に着任いたしました橋口泰一と申します。着任からまだ2ヶ月ほどではございますが、日々新鮮な学びと出会いに恵まれ、母校にて教育・研究に携われることを大きな喜びとして感じております。

私は2002年3月に日本大学文理学部体育学科(第41期)を卒業後、同大学院文学研究科教育学専攻(体育コース)を修了いたしました。その後、2年間にわたり文理学部体育学科の助手を務め、日本大学松戸歯学部にて健康スポーツ科学に関する教育・研究活動を続けてまいりました。今回、教員として再び文理学部に戻る機会をいただき、教育者としての一歩を踏み出した場所に戻ってこられたことを大変光栄に存じます。

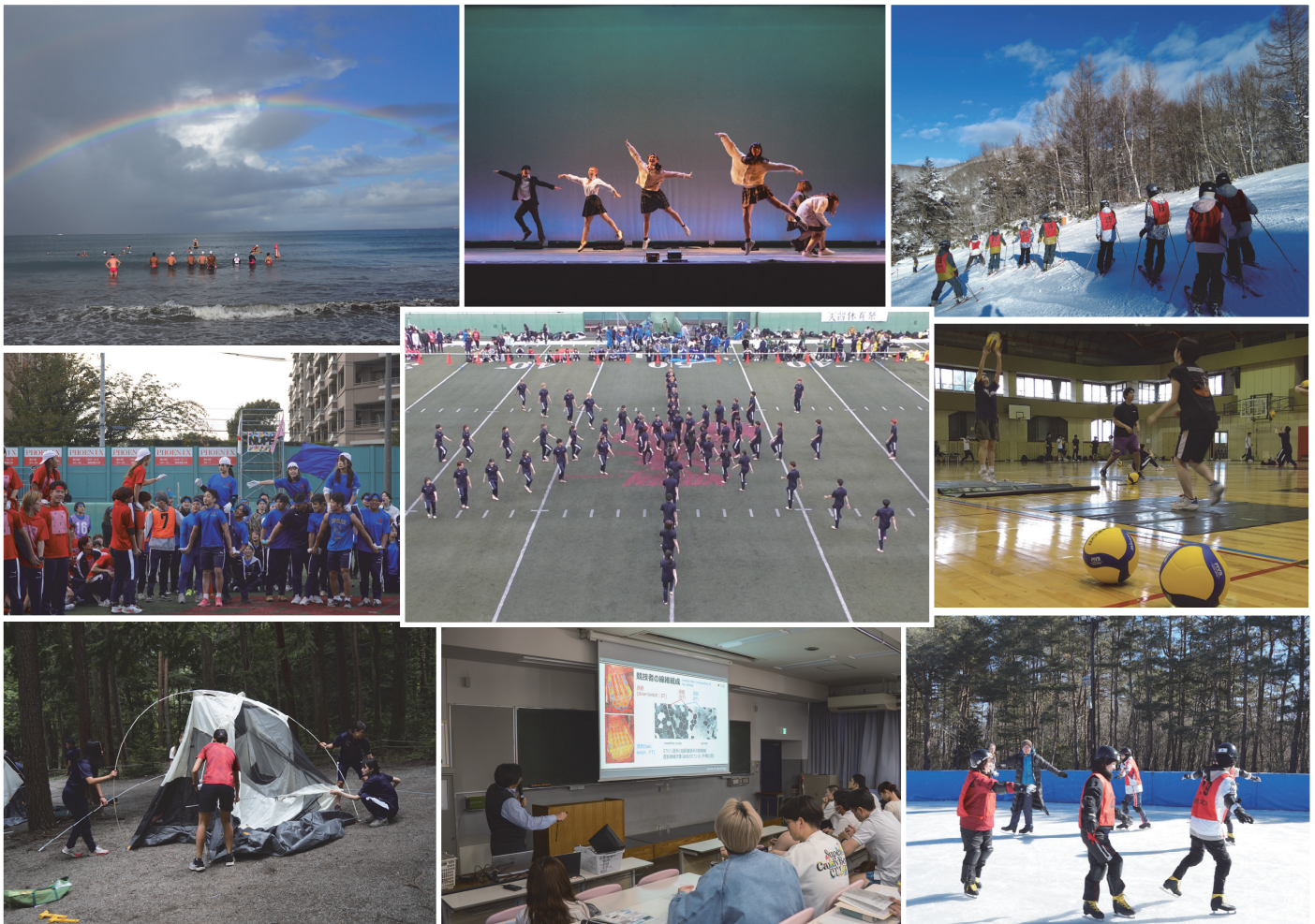
現在の研究では、パラスポーツ(障害者スポーツ)におけるコーチの成長過程や支援体制に焦点を当て、公益財団法人日本パラスポーツ協会における競技力向上支援、ならびに公益財団法人日本スポーツ協会でのコーチ養成に携わっております。

本学では、「アダプテッドスポーツ論」を中心に、ゼミナールや演習科目を担当いたします。これまで、主に歯学部学生への体育・スポーツの授業を担当してまいりましたが、現在は体育学科生をはじめ、さまざまな学科の学生と接しながら、活気ある授業を展開できることに感謝しております。

今後も、教育と研究の両面から学生の成長を支援し、体育学科ひいては本学の発展に寄与できるよう、一層努力してまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



写真で見る体育学科の今



体育学科の社会貢献活動

城間ゼミナール

ゆいまーるカップミニバスケットボール交歓大会

私のゼミナールの授業では、地域に根ざした実践的な教育活動の一環として、2025年2月8日に地域の小学生を対象としたバスケットボール大会「ゆいまーるカップ」を開催しました。「ゆいまーる」とは沖縄の言葉で「助け合い」を意味し、本大会には、子どもたちがスポーツを通して協力し合い、支え合うことの大切さを学んでほしいという願いが込められています。

当日は、地域の小学生およびその保護者を合わせて650名以上が参加し、にぎやかで活気あふれる一日となりました。子どもたちは、学年や経験に応じて編成されたチームで試合に臨み、学生たちは大会の企画・準備から当日の運営・進行、レフリー、参加者へのサポートに至るまで、すべての役割を主体的に担いました。競技中は、子どもたちがチームメイトと声をかけ合い、互いに励まし合っている姿が随所に見られ、ゆいまーるの精神が自然と体現している様子がとても印象的でした。

また、来場されている保護者にも大会を楽しんでもらえるよう「保護者対抗フリースロー大会」も開催し、子どもたちの声援を受けながら、保護者が真剣にゴー

ルを狙う姿に会場は大いに盛り上がりました。

さらに、公認スポーツ栄養士の吉沢幸花氏(体育学科助手)が、子どもと保護者を対象とした栄養講習会「バスケットボールジュニア選手の基本の食事」を開催しました。講習中、子供たちは吉沢氏の質問に対し、積極的に答えていました。食育に熱心な保護者が多く、様々な食事の悩みを相談しておりました。

参加者からは、「家族でスポーツを楽しめて良い思い出になった」「大学の素晴らしい施設で子どもたちがバスケットボールをし、とても喜んでいて」「滅多に入れない大学の施設を使わせてもらい、貴重な経験になった」「試合の合間に栄養講習会も受講できてとても良かった」といった声が多く寄せられました。さらに、「学生の皆さんが本当に素晴らしかった」「子どもたち



に優しく接してくれて感動した」といった、学生への温かい感謝と称賛の言葉も数多く頂戴し、大学施設を地域に開放することの意義や、学生たちがスポーツを通じての地域貢献に真摯に取り組む姿勢が高く評価されたことがうかがえます。

本大会は、学生にとっても地域と関わりながら多くを学ぶ貴重な機会となり、企画・運営力やコミュニケーション力、そして地域貢献への意識を高める大きなきっかけとなりました。今後も城間ゼミナールでは、ゆいまーるの精神を大切にし、地域に開かれた教育活動を継続してまいります。

准教授 城間修平(第44期)

3年生 水澤 大地

今回、地域の小学生を対象とした「ゆいまーるカップ」の企画・運営に携わり、準備から当日の運営までを学生主体で行う貴重な経験をさせていただきました。最初は戸惑う場面もありましたが、仲間と協力しながら一つのイベントを作り上げることで、責任感やコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。

当日は、子どもたちの笑顔や一生懸命にプレーする姿に私たちも元気をもらい、また、保護者の方から温かいお言葉をいただけたことが大きな励みとなり、とても嬉しかったです。

この経験を通じて、今後も地域に貢献できる活動に対して積極的に携わっていきたいと思っています。



栄養講習会



試合風景



試合風景



保護者対抗フリースロー

参加チーム数 20チーム

男子(4年生～6年生) 8チーム

女子(4年生～6年生) 6チーム

低学年(1年生～3年生) 6チーム

吉田ゼミナール

「NPO法人えるぶ」との活動

吉田ゼミでは、東京都狛江市で障がいのある人、ない人が「共に」学び、育ちあうことを目指している「NPO法人えるぶ」(以下、えるぶ)という団体と年に一度、コラボ企画を行っています。吉田がえるぶでアルバイトをしていた経験から、障がいの有無にかかわらず共に活動する機会を大切にしたいという双方の思いが一致し、2014年から実施しており、今年度で10回目となります。当初は、こちらが企画したものを実施する形でしたが、3年目からは「<支援する・支援される>ではない対等な関係性で、障がいの有無・年齢・性別の差を超えて、共に体を動かして楽しむイベントを企画し、実践しよう」というテーマのもと、企画自体もえるぶと吉田ゼミ3・4年生と一緒にを行っています。事前ミーティングで企画内容の出し合い、決定、ルールや得点の設定、場合によっては試技を行い、当

日を迎えます。ここ数年は、社会福祉学科の鴨澤小織先生の授業学生にも参加していただいたため、それぞれの学科の学生が持つ特性にお互いが刺激を受ける良いきっかけにもなっています。

企画内容は年度によって様々ですが、ここ数年では、ボッチャ、スポーツチャンバラ、車いすリレー、シッティングバレーボール、ドッチビーなどを行いました。

いくら準備しても、当日は「この場合はどうする?」といった臨機応変な対応が多々求められます。障がいの有無、スポーツのスキルなど様々だからこそ、実践した時にしかわからないことがあるので、うまくいくことだけでなく、うまくいかないことも含め



て大きな学びだと思っています。また、学生自身が気を遣いすぎて遠慮していると、本当の楽しさにはつながらないので、学生自身が楽しむことの大切さも学生たちは学んでくれているようです。

障がいの有無にかかわらず共に活動することは、なかなか経験することはできないので、これからもこうした機会を大切に続けていきたいと思っています。

准教授 吉田明子(第44期)

2022年度卒業生 大浦海咲(第62期)

私は今までに、障がいを持った方とスポーツを通してコミュニケーションを取ったり、一緒になって楽しむという、今回のような機会はなかなかありませんでした。しかし私は、今回の経験を通して、このような機会が日本の児童生徒、また、大人になってからも、もっと身近にあればいいなと思いました。そう思えたのも、企画、実践を通して、えるぶの皆さんにたくさんの学びをいただいたからです。普段あまり関わる機会のない、障がいを抱えた方と、スポーツを通して共に楽しむということについて、最初は不安もありました。対等な関係であるからこそその悩みもありました。しかし、健常者でも好きな人や苦手な人がいるように、得意不得意があるように、全てを完璧にするということではなくて、お互いもっと気軽に、自分の望むように行動したり関わったりしていけばいいのだと思いました。最初は気を遣っていたりした自分もいましたが、最後は、純粋な気持ちで楽しかった、またやりたいと思いました。

2024年度卒業生 谷合飛鳥(第64期)

今回のコラボ企画を通して改めて、障がいをもっていても同じ人間であり、怖がったり消極的に考える必要はないということが分かりました。スキップなども1年前は怖がっていましたが、積極的にコミュニケーションをとって関係を築いていくことで相手も気を許してくれて楽しく活動ができました。これまでの体験活動から、自分たち(健常者)が気を使っていたり恐怖心を抱いてしまっていると障がい者はそれを感じとり、互いに楽しむことができず関係性も築けないことが分かりました。

社会福祉学科の学生が積極的に話しかけにいたりコミュニケーションをとっていて、それに対してえるぶの皆さんも「一緒に〇〇しよう」などのように話しかけに行く姿は、障がい者との関わり方について改めて考えさせられた瞬間でした。私は最初、えるぶさんと関わるのに怖さを感じていたのですが、社会福祉学科の学生さんは距離を縮めるのが上手で、客観的に障がい者との関わり方について見る事ができたのは、とても勉強になりました。

4年生 佐藤俊哉

今回、運動会と事前ミーティングを体験した後で、自分が成長したと感じたことが主に三つありました。まず、一つ目は、コミュニケーション力が向上したことです。自分は普段口数が少なく、人と話すのがあまり得意ではありませんが、社会福祉学科やえるぶの人たちと一緒に活動することで、ジェスチャーや視覚的なサポートなどのコミュニケーションの取り方が自然と工夫され、相手を理解しようとする考え方や姿勢が育まれました。二つ目は、多様性の尊重についての理解が深まったことです。障がいのある人々は、それぞれ異なる背景やニーズを持っており、今回の活動を通じて様々な人の個性を理解して尊重することの大切さを学ぶことが出来ました。また、誰もが楽しむことが出来る環境を作っていくためにも、今回学んだことを自分の中に留めておくだけでなく多様性の価値観を周りに広めていくことが重要だと思いました。三つ目は、問題解決能力が向上したことです。特に今回の活動で柔軟性が一番成長したと感じました。これまでの自分だったら頭が固く、時間通りに行動しようと躍起になったり、物事を狭い視野でしか考えられませんでした。運動会で様々な人と関わったことで少しずつ、突然のハプニングでも焦らずに柔軟に対応出来るようになりました。



インフォメーション

昨年度は、文理学部並びに体育学科のお力添えもあり、2019年以来となる「体育学科学生就職支援交流会兼名刺交換会」を文理学部にて開催することができました。当日は体育学科生や同窓生に加え、学部就職指導課にご協力いただき、同窓生ではない企業様にもご参加いただき、総勢250名となる最近では一番大きなイベントとして、盛会のうちに終了いたしました。コロナにより直接会う機会が減ってしまっておりましたが、このようなイベントを通して、改めて体育学科の繋がりの強さを感じました。引き続き、同窓会事業へのご理解ご協力をお願いするとともに、実際に足をお運びいただき、体育学科同窓会ならびに体育学科へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

体育学科同窓会事務局

〒156-8550

東京都世田谷区桜上水3-25-40

日本大学文理学部体育学研究室 内

電話: 03(5317)9717

FAX: 03(5317)9426

電子メール: taiiku.doso@gmail.com

ホームページ:

<http://www.nu-taiiku.jp/>



【会報発送について】

昨年度の会報でご案内させていただきました通り、今年度から紙媒体での会報誌の発送は、会費を納入いただいている方を優先に送付させていただいております。

今まで通りホームページにアップロードしておりますが、紙媒体の会報を希望されている方が周りにおりましたら、同窓会事務局までご相談ください。

日本アプライドスポーツ科学会 (旧:桜門体育学会)より

2021年度より、桜門体育学会は【日本アプライドスポーツ科学会】に名称を変更し、新たなスタートを切っております。

今年度の第5回学会大会は、國學院大学が主管となり、國學院大学たまプラーザキャンパスにて本学会初の対面形式での実施を予定しております。学会会則や大会案内等は、日本アプライドスポーツ科学会ホームページ (<http://www.nu-taiiku.jp/society>) をご覧ください。



事務局より 会費納入のお願い

今年度会費納入の対象となっている同窓生には、払込取扱票を同封しております。そちらの用紙をお使いいただき、郵便局またはコンビニエンスストア等でお支払をお願い致します。同窓生の皆様には大変ご負担をお掛け致しますが、事業を円滑に進めていく上で皆様のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

＜納入対象卒業期＞

4期 (S39卒)	9期 (S44卒)
14期 (S49卒)	19期 (S54卒)
24期 (S59卒)	29期 (H1卒)
34期 (H6卒)	39期 (H11卒)
44期 (H16卒)	49期 (H21卒)
54期 (H26卒)	59期 (H31卒)

※()内は卒業年度

編集後記

体育学科や同窓生の社会貢献活動には、大変誇らしい気持ちになります。ここで紹介や報告できているのはごく一部だと思います。まだ紹介できていないユニークな取り組みもあるのではないのでしょうか。

本年度は役員が改選され、小野力会長から新たな会長へ引き継がれることとなります。気持ちを新たに同窓生の活躍を応援したいと思います。

川井昂前会長には、学生の頃よりお世話になっており、楽しく、豪快にお酒を飲む姿が思い出されます。体育学科とこの同窓会においても、仕事を一緒にいただいたことに感謝し、あらためてご逝去を悼み、在りし日のご功績を偲びます。

(第35期 重城 哲)

令和7年度 体育学科年間行事(関連行事含む)

開講式 (文理学部百周年記念館)	4月2日
入学式 (日本武道館)	4月8日
夏季オープンキャンパス (文理学部キャンパス)	7月13日
オーシャンスポーツ実習 (千葉県 岩井海岸)	8月1～3日
キャンプ実習 (山梨県 尾白の森キャンプ場)	9月4～7日
秋季オープンキャンパス (文理学部キャンパス)	9月21日
桜麗祭 (文理学部キャンパス)	11月1～2日
実習体育祭 (日本大学アメリカンフットボール場)	11月9日
創作ダンス発表会 (文理学部百周年記念館)	12月14日
スノースポーツ実習 (長野県 高天ヶ原スキー場)	12月24～27日
アイススポーツ実習 (山梨県 富士急ハイランド)	2月4～6日
卒業式 (日本武道館)	3月25日
学位記伝達式 (文理学部百周年記念館)	3月25日

同窓会へのご意見ご要望を大募集!

より一層充実した同窓会事業の運営の為に、皆様のお力をお貸しください。会報やホームページに掲載して欲しい情報、同窓会で実施して欲しいイベントなど、皆様のアイデアを下記専用フォームもしくは事務局へメール・電話等でお寄せ下さい。

投稿者情報・内容は、同窓会事業の充実や円滑な運営のための必要な範囲内で適切に利用いたします。



<https://forms.gle/2fCrPTFpYXBAmGzEA>